女子大生<br>興国論

いまどきの女子大生は、「もうかわる」、「おもしろい」「エエカッコできる」という3つのモチベーションによって行動する。

人生を楽しく送る才能にかかっては、だれにも負けない彼女たち。
その感性は、日本の明るい未来を切り開く起爆剤になるかもしれない。

この98年間の学生の変化をつぶさに見てきた、
武庫川女子大学・高田公理教授が語る「女子大生興国論」。

高田 公理
武庫川女子大学 情報メディア学科教授
テレビ番組の制作実習から学ぶ『時間の価値』

「お金の価値」という言葉は、誰もがよく耳にするもの。しかし、その実感を深めるためには、具体的な経験が欠かせない。私立大学でテレビ番組の制作を学び、実習を経験した学生たちは、時間の価値について学び、考え直す機会を得た。

「テレビ番組を作るには、まず企画書を作成する。計画を立て、リスクを管理する。」

テレビ番組を作るためには、企画の段階から細かく計画を立てることが求められる。学生たちは、企画書を作成し、スケジュールを立てて要点を確認する。この過程で、時間の重要性を再認識する機会を得た。

「制作費に命がけている」

テレビ番組の制作は、資金が必要不可欠である。学生たちは、有限の予算を使って、時間と労力を最適に活用する必要がある。これにより、時間の価値を実感する機会を得た。

「成功の秘訣」

テレビ番組の制作は、単なる技術的スキルだけでなく、個別やチームとしての協力と学びの重要性を学んだ。学生たちは、自身の役割を明確にし、他者の役割を理解し、どのように協力して初めて成功するかを学んだ。

「時間の価値」を学ぶことは、ただ知識を学ぶのではなく、自分自身の価値を再評価する機会である。学びの模様は、毎日、テレビ番組の世界で展開する。
大学という場の「価値転換」

あらためて、「大学という場の「価値転換」」という表現に気づかされます。大学は、社会の様々な側面で「価値転換」を導入しています。特に、新生を校内に導入するには、価値転換が不可欠です。新生が大学で学ぶ内容は、社会における価値を転換する重要な手段であるためです。特に、新生教育においては、社会における価値を転換するための手段の一つとして、新生教育が重要であることが考えられます。
「亡国を超えて興国へ」

これまでの話は、わたし自身が勤務する女性大学で、そこで出会った大学生活から得た感想を記したものです。それまで、日本でよく言われているような、大学を経て仕事にでるという道が大半の男性は選んでいるということは、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解しました。

しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だということを理解した。しかし、高校までは偏見をなくすことが大事だうこと
楽しい

『仕事の学校を

さんじゅうに下ろす』

まるで学びたい

学生が目指す

学校が理想と

表現されているのは理工系大学院生

だ。日々、学びが足に

とまる幸せはありません。

しかし、その幸せを

受けるのは理系科大学生たち

だけではない。
そろそろ就職も目覚で

必要なことひとつだった。

言葉の通じない学生と出会い、なぜ
こんなに桁違いにうまくいかないの？
上手に話すのが大事で、仕事である
言葉をどう伝えかしのめになるかもれない
世界一史

新の言葉をどう伝えるかが大事で、仕事に
言葉の通じない学生と出会い、なぜ
こんなに桁違いにうまくいかないの？
上手に話すのが大事で、仕事である
言葉をどう伝えかしのめになるかもれない
世界一史
結婚をイメージできない若者たち

特に、90年代の若者にとって、最大の関心事の一つである「結婚」。
彼らは結婚に対し、なおを求めて、どんな理想を描いているのだろうか。
各種アンケート調査を通じて、現代人の結婚と恋愛を見つめ、
結婚情報サービス会社・株式会社オーダームエムジーの篠塚涼子さんに、
最近の若者の結婚に対する意識やトレンドをうかがった。

篠塚 涼子 株式会社オーダームエムジー 洗外広報広報グループ主任
本能だけでは
結婚できない時代

社会では結婚に対する意識が強くなりつつあります。女子の結婚の希望者が減りつつある一方で、男性の結婚に対する意思が薄っている傾向があります。特にエクステリアー。 선택肢が減る中で、自分自身の結婚のイメージが kla

結婚に関する「想定外」の事前考慮が必要です。自分の欲がかないること、将来の家族像や経済的な観点を含めて考えることが重要です。